

大規模災害時における臨床検査 について考える

日 時：平成 26 年 12 月 20 日(土) 14 時～17 時 (受付開始 13 時 30 分～)

場 所：和歌山JAビル 11 階会議室

〒640-8331 和歌山県和歌山市 美園町 5-1-1 Tel 073-488-5641

司 会：玉置 達紀 (一般社団法人 和歌山県臨床検査技師会 会長)
畑 忠良 (一般社団法人 和歌山県臨床検査技師会 副会長)

プログラム

「東日本大震災 被災地からの報告」

東北大学病院 診療技術部副部長 臨床検査部技師長

長沢 光章 (一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会理事)

「災害時における臨床検査診断薬等の供給体制について」

竹内化学株式会社 代表取締役

竹内 和彦 (一般社団法人 近畿臨床検査薬卸連合会理事)

「災害時における和歌山県の医療体制について」

和歌山県福祉保健部健康局 薬務課指導班長

宮井 一行

「大規模災害時における臨床検査の必要性」

神戸常盤大学保健科学部 教授

坂本 秀生

総合討論

後 援：和歌山県

(一社)日本臨床衛生検査技師会

(一社)和歌山県医師会

(公社)和歌山県看護協会

(公社)和歌山県理学療法士協会

(公社)和歌山県栄養士会

(一社)和歌山県作業療法士会

(一社)日本臨床検査薬卸連合会

(公社)和歌山県病院協会

(一社)和歌山県放射線技師会

和歌山県病院薬剤師会

(一社)和歌山県臨床工学技士会

(一社)和歌山県言語聴覚士会

主 催：一般社団法人 和歌山県臨床検査技師会